

※令和2年10月10日以降を「第三波」とする。

## ＜修正にあたっての基本的考え方＞

- 現行「大阪モデル」の基本的考え方は変更しない。

### 「大阪モデル」の基本的考え方

- ・ 感染拡大状況を判断するため、府独自に指標を設定し、日々モニタリング・見える化。
- ・ 各指標について、「感染拡大の兆候」と「感染の収束状況」を判断するための基準を設定し、各基準の状況に応じて、府民に周知する。

- 第三波が収束していない状況においては、現行「大阪モデル」で設定していない「非常事態解除」の基準を新たに設定するのみの修正とする。
- 「警戒」の基準（解除基準含む）など「大阪モデル」全体の修正については、今後、感染収束時に議論する。

## ＜「大阪モデル」の修正点＞

- 「警戒・非常事態解除」の基準のうち、重症病床使用率60%未満を「非常事態解除」の基準とする。

また、7日間連続で「非常事態解除」の基準を満たした場合に、信号を点灯（赤⇒黄）する。

（理由）現在は「非常事態」のみの解除基準の設定がない。

重症患者は陽性者の年齢構成に影響するため、重症患者数が減少傾向に転じた後も一定期間、重症患者数の推移をみる必要がある。

※なお、重症センターの運用時には、大阪モデルの「病床確保数」に重症センター病床数（30床）を含める。

# 「大阪モデル」モニタリング指標 非常事態の解除（案）

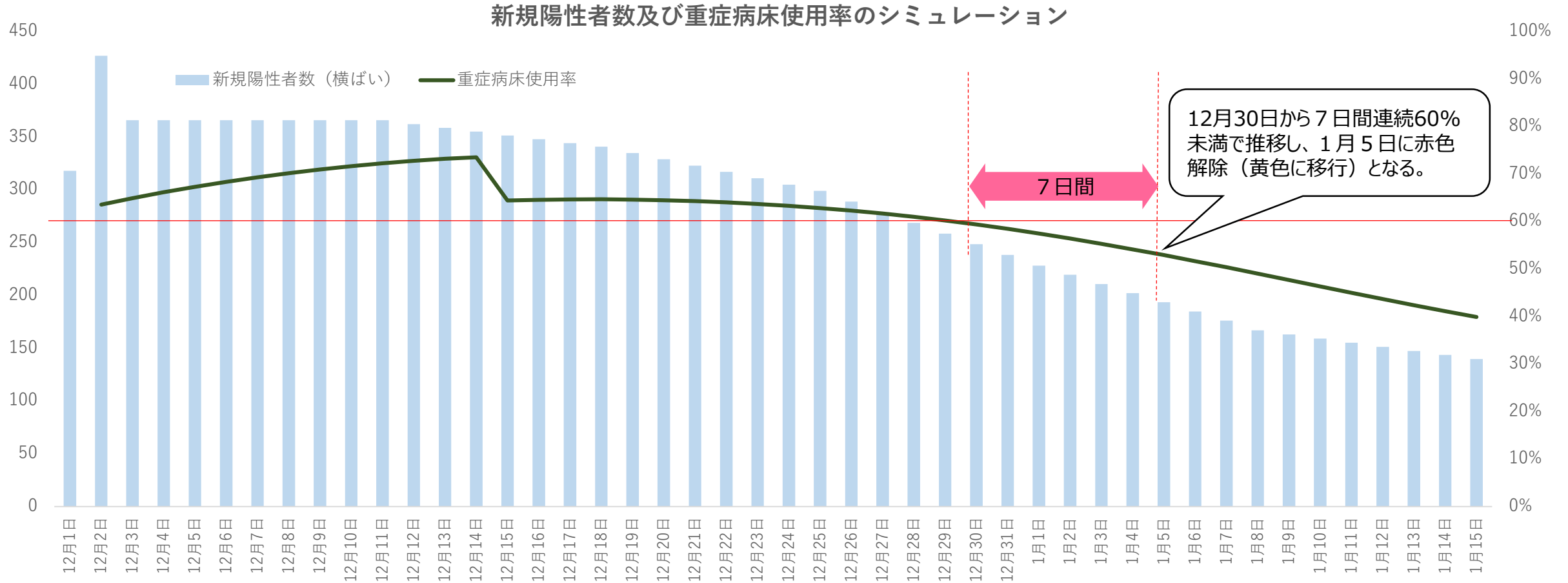
分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準
(1)市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	① 2以上かつ ②10人以上	—	—	今後再検討
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均				
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—
(2)新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ後半3日間で半数以上	—	—	—
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満
	【参考②】確定診断検査における陽性率の7日間移動平均	—	—	—	—
(3)病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率	—	70%以上 (「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内)	7日間連続60%未満	60%未満
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率 【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—
各指標を全て満たした場合における信号		黄	赤	黄	緑

## <考慮事項>

- 警戒基準引き上げにより、緩やかな感染拡大の兆候に対しては早期の探知が機能しないことから、都道府県による社会への協力要請を行うべき国が示した基準日の条件（直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数2.5人）を満たした場合には、指標①②に基づく感染経路不明者の増加傾向、及び新規陽性患者の日々の増加傾向を踏まえて、専門家会議の構成員等の意見を聴取し、対策本部会議で「警戒（黄色）」信号点灯の可否を決定するものとする。
- 国による緊急事態宣言が出された場合、対策本部会議で「非常事態（赤色）」信号点灯の可否を決定するものとする。

# 新規陽性者数及び重症病床使用率予測と修正モデル(案)での点灯について

※12/15以降の確保病床数は236床（重症センター病床数30床含む）とする。



※上記シミュレーションは、12月3日以降、「366名/日（12/2時点の新規陽性者数の7日間移動平均）で横ばいとなり、12/11（11/27の要請から2週間後）以降減少する場合」で算出したもの。（資料1-2）

(参考) 現行大阪モデル

# 現行「大阪モデル」モニタリング指標と基準（7月3日より運用）

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する警戒・非常事態解除の基準
(1)市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者 7日間移動平均前週増加比	① 2以上 かつ	—	②10人未満
	②新規陽性者における感染経路不明者数 7日間移動平均	②10人以上	—	
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—
(2)新規陽性患者の拡大状況	③ 7日間合計新規陽性者数	120人以上 かつ 後半3日間で半数以上	—	—
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	0.5人未満
	【参考②】確定診断検査における陽性率の7日間移動平均	—	—	—
(3)病床等の逼迫状況	⑤患者受入重症病床使用率	—	70%以上 (「警戒（黄色）」信号が点灯した 日から起算して25日以内)	60%未満
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—
各指標を全て満たした場合における信号		黄	赤	緑

## <考慮事項>

- 警戒基準引き上げにより、緩やかな感染拡大の兆候に対しては早期の探知が機能しないことから、都道府県による社会への協力要請を行うべき国が示した基準日の条件（直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数2.5人）を満たした場合には、指標①②に基づく感染経路不明者の増加傾向、及び新規陽性患者の日々の増加傾向を踏まえて、専門家会議の構成員等の意見を聴取し、対策本部会議で「警戒（黄色）」信号点灯の要否を決定するものとする。
- 国による緊急事態宣言が出された場合、対策本部会議で「非常事態（赤色）」信号点灯の要否を決定するものとする。

# 「大阪モデル」モニタリング指標の状況

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する警戒・非常事態解除の基準	7/31	8/31	9/17	10/8	11/11	11/20	11/24	12/3	12/13	
					23回会議	25回会議	26回会議	27回会議	28回会議	29回会議	30回会議	31回会議		
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	1.79	0.71	1.10	0.75	1.75	1.31	1.63	1.03	0.94	12/4以降、1未満で推移
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	10人未満	109.43	55.29	41.71	28.71	107.00	157.57	218.57	226.86	178.71	12/5以降、200人未満で推移
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	67.6%	58.5%	59.6%	59.2%	57.4%	62.7%	64.8%	61.1%	56.8%	概ね50～60%以上で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	1,142	643	536	330	1185	1874	2377	2620	2422	12/5以降、微減し、その後横ばい
	うち後半3日間		627	205	224	159	560	981	981	1131	1094			
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	0.5人未満	12.94	7.29	6.07	3.74	13.43	21.24	26.94	29.69	27.45	同上
	【参考②】確定診断検査における陽性率の7日間移動平均	—	—	—	9.9%	5.2%	4.8%	3.4%	6.8%	8.9%	11.8%	9.3%	8.4%	11/30以降、10%未満で推移
(3) 病床等の逼迫状況	⑤患者受入重症病床使用率	70%以上 （「警戒（黄色）」 信号が点灯した日から 起算して25日以内）	60%未満	10.1%	31.9%	16.5%	12.2%	30.6%	39.3%	50.0%	66.0%	76.7%	12/8に70%を超過し、上昇	
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	25.7%	39.4%	29.9%	17.1%	32.8%	44.7%	55.4%	53.7%	67.0%	12/9に60%を超過し、上昇
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	28.4%	10.2%	9.9%	11.4%	20.8%	31.2%	46.3%	35.2%	44.2%	12/11に40%を再び超過し、上昇

## 【大阪府の主な取組状況】

- 7/31（23回会議） イエローステージ2に移行（8/1～）、ミナミ地区の一部への施設休業等の要請（8/6～20）
- 8/31（25回会議） イエローステージ1に移行（9/1～）、「5人以上の宴会等自粛要請」（8/1～）から「多数数での宴会等自粛要請」に変更（9/1～）
- 9/17（26回会議） イベント開催制限の緩和（9/19～）
- 10/8（27回会議） 「多数数での宴会等自粛要請」から「3密で唾液が飛び交う環境自粛要請」に変更（10/10～）
- 11/11（28回会議） 「静かに飲食」「マスクの徹底」を要請（11/12～）
- 11/20（29回会議） イエローステージ2に移行、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請（11/21～）
- 11/24（30回会議） 大阪市北区、中央区の酒類を行う飲食店等の営業時間短縮要請（11/27～12/11）
- 12/3（31回会議） レッドステージ1に移行、不要不急の外出自粛要請（12/4～15）、飲食店等の営業時間短縮要請の延長（～12/15）

# (参考) 新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

## 【分科会の指標の考え方】

ステージの移行を検知する指標はあくまで目安。指標をもって機械的に判断するのではなく、これらの指標を総合的に判断。

※ステージⅢ「感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階」

ステージⅣ「爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階」

※ステージⅠ・Ⅱの指標設定はなし

		指標及び目安		7/31 23回会議	8/31 25回会議	9/17 26回会議	10/8 27回会議	11/11 28回会議	11/20 29回会議	11/24 30回会議	12/3 31回会議	12/13	12/13時点の 目安に対する状況	(参考) ステージⅢ 基準到達状況	目安に対する 状況	
ステージⅣ	医療提供体制等の負担	①病床のひっ迫 具合	病床全体	・最大確保病床 (※1 1615床) の占有率 50%以上	18.2%	30.3%	22.2%	13.0%	28.0%	38.2%	47.5%	49.2%	60.6%	●	20%以上	●
				・現時点の確保病床数 (※2 1432床) の占有率	23.4%	38.3%	27.9%	16.4%	32.5%	43.9%	54.6%	55.4%	68.4%	—	25%以上	●
			うち、重症者用 病床	・最大確保病床 (215床) の 占有率 50%以上	8.8%	27.9%	14.4%	10.7%	29.3%	37.7%	47.9%	63.3%	73.5%	●	20%以上	●
				・現時点の確保病床数 (206床) の占有率	10.1%	31.9%	16.5%	12.2%	30.6%	39.3%	50.0%	66.0%	76.7%	—	25%以上	●
		②療養者数	人口10万人あたりの全療養者数25人以上 (※3)	14.34	13.72	8.65	5.11	16.64	26.61	36.60	51.77	53.27	●	15人以上	●	
	監視体制	③PCR陽性率	10% ※1週間の平均	9.9%	5.2%	4.8%	3.4%	6.8%	8.9%	11.8%	9.3%	8.4%	○	ステージⅣと同基準	○	
	感染の状況	④新規報告数	25人/10万人/週 以上	12.94	7.29	6.07	3.74	13.43	21.24	26.94	29.69	27.45	●	15人以上	●	
		⑤直近一週間 と先週一週間の 比較	直近一週間が先週一週間より多い	直近一週間	1,142	643	536	330	1,185	1,874	2,377	2,620	2,422	○	ステージⅣと同基準	○
				先週一週間	670	985	498	398	843	1,385	1,643	2,410	2,496			
		⑥感染経路 不明割合	50% ※1週間の平均	67.1%	60.2%	54.5%	60.9%	63.2%	58.6%	64.4%	60.6%	51.7%	●	ステージⅣと同基準	●	

※重症者用病床に関する占有率は、大阪府基準により算出。

●：基準外 ○：基準内

### 【大阪府の主な取組状況】

7/31 (23回会議)	イエローステージ2に移行 (8/1～)、ミナミ地区の一部への施設休業等の要請 (8/6～20)
8/31 (25回会議)	イエローステージ1に移行 (9/1～)、「5人以上の宴会等自粛要請」(8/1～)から「多人数での宴会等自粛要請」に変更 (9/1～)
9/17 (26回会議)	イベント開催制限の緩和 (9/19～)
10/8 (27回会議)	「多人数での宴会等自粛要請」から「3密で唾液が飛び交う環境自粛要請」に変更 (10/10～)
11/11 (28回会議)	「静かに飲食」「マスクの徹底」を要請 (11/12～)
11/20 (29回会議)	イエローステージ2に移行、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請 (11/21～)
11/24 (30回会議)	大阪市北区、中央区の酒類を行う飲食店等の営業時間短縮要請 (11/27～12/11)
12/3 (31回会議)	レッドステージ1に移行、不要不急の外出自粛要請 (12/4～15)、飲食店等の営業時間短縮要請の延長 (～12/15)